

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

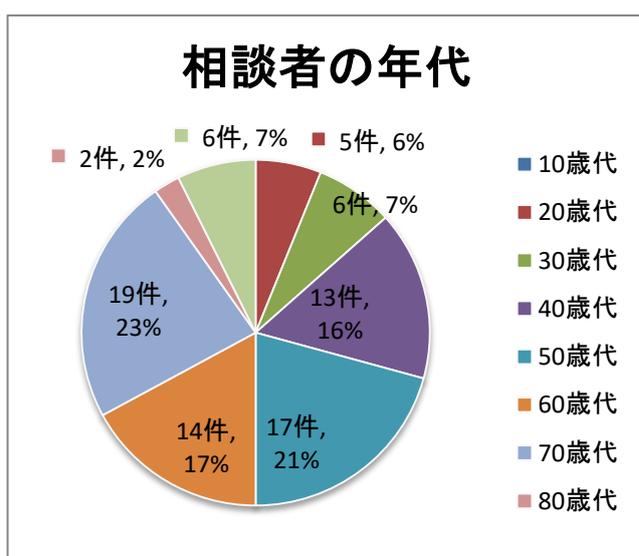
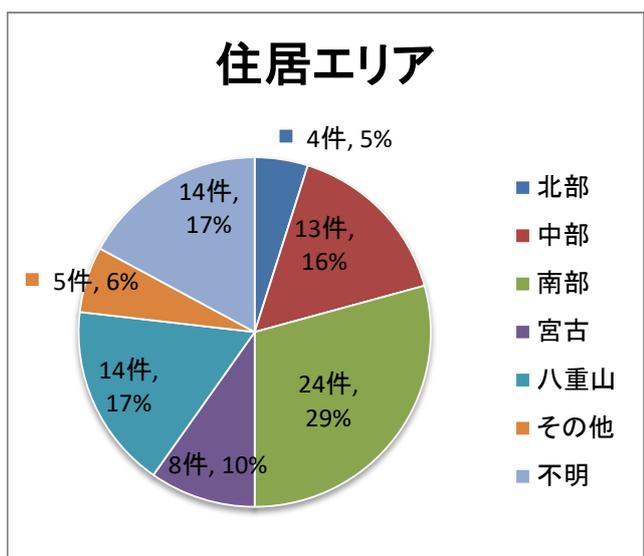
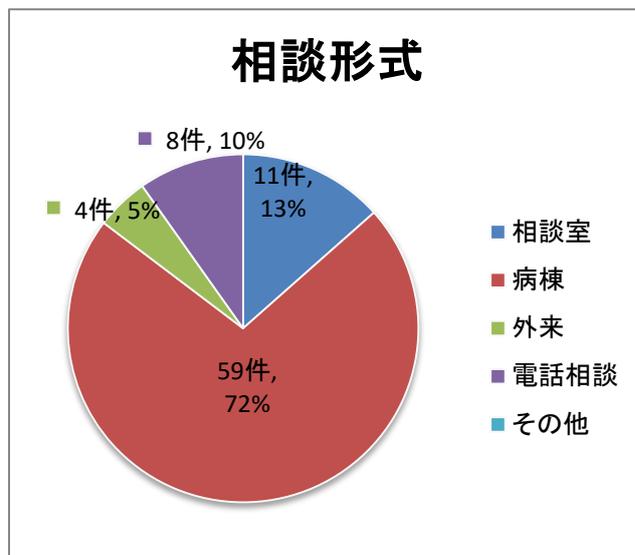
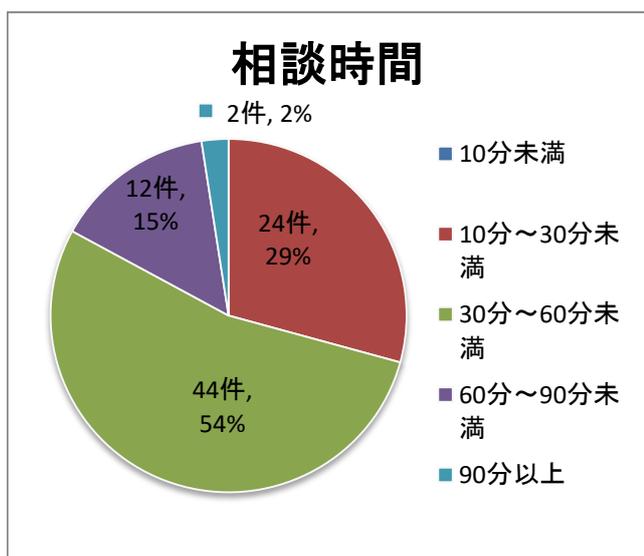
実施期間：平成31年4月1日～令和元年6月30日

がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

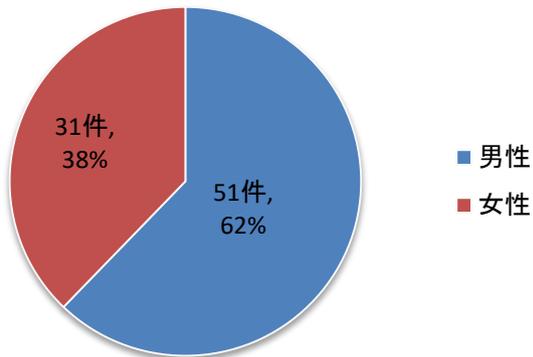
■ 調査対象期間 平成31年4月1日～令和元年6月30日

■ 調査件数 82 件

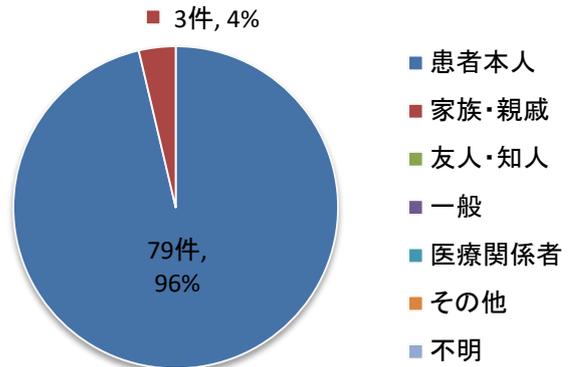
| 相談月 | 件数 |
|-----|----|
| 4月 | 37 |
| 5月 | 23 |
| 6月 | 22 |
| 合計 | 82 |



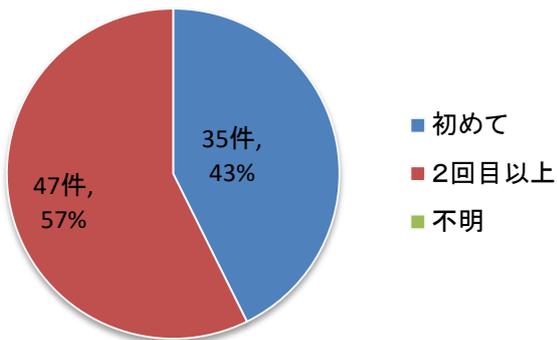
相談者の性別



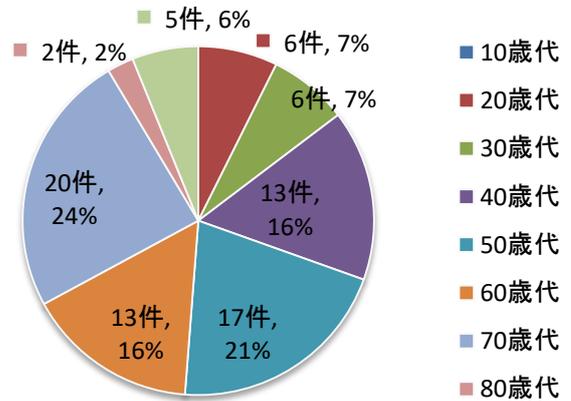
相談者のカテゴリー



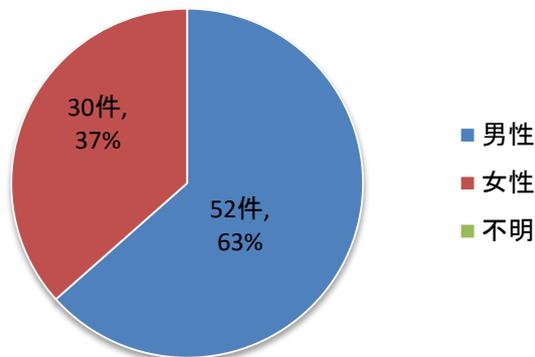
相談者の利用回数



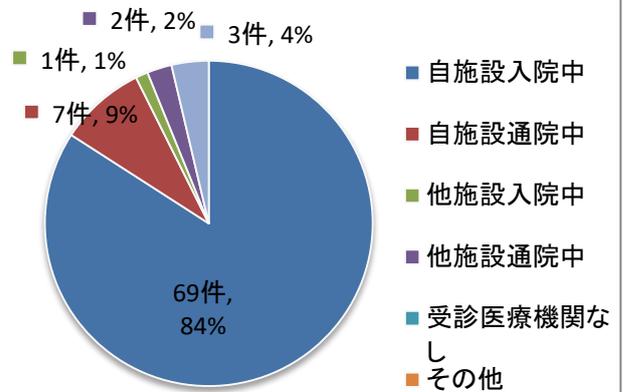
患者本人の年代



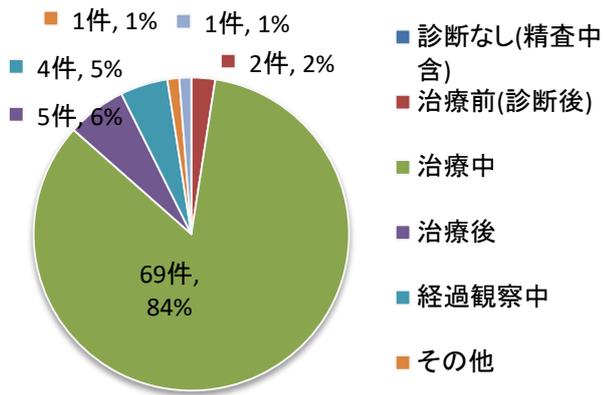
患者本人の性別



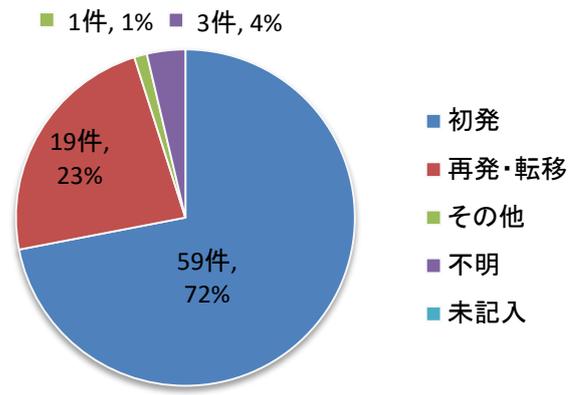
受診状況



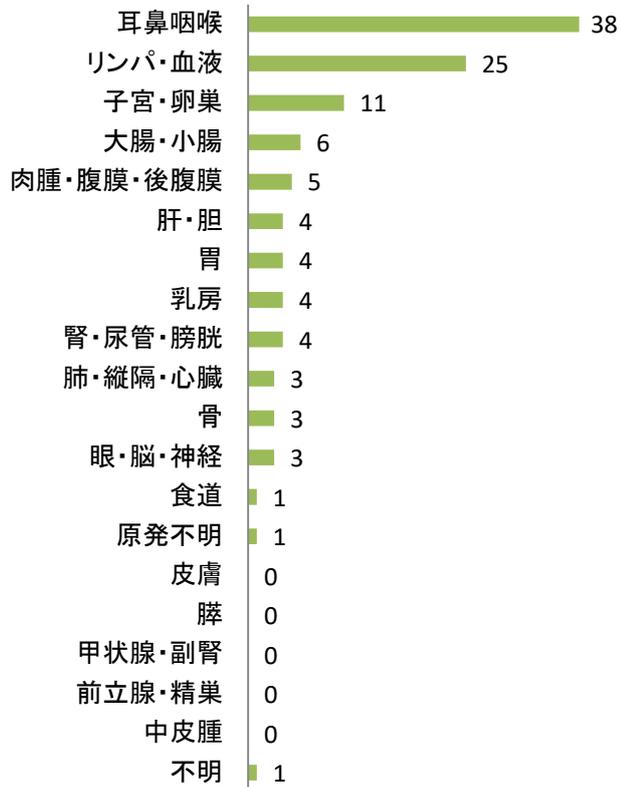
現在の治療状況



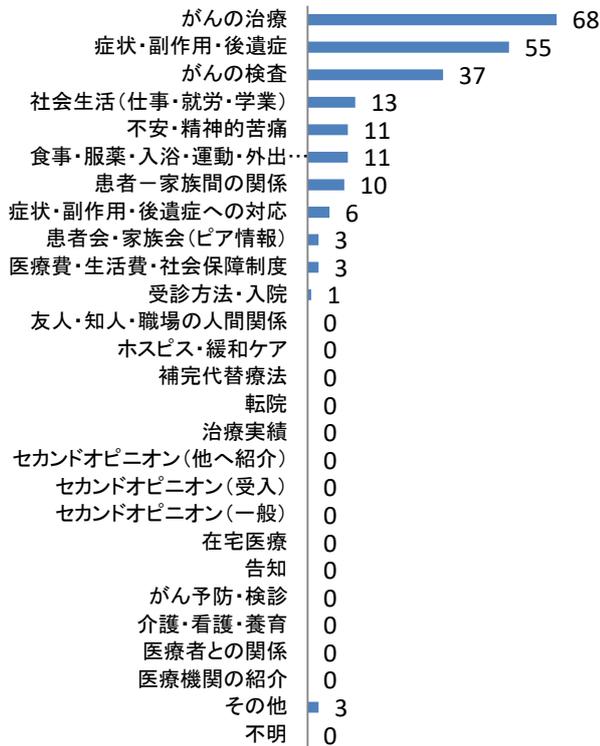
がんの状況



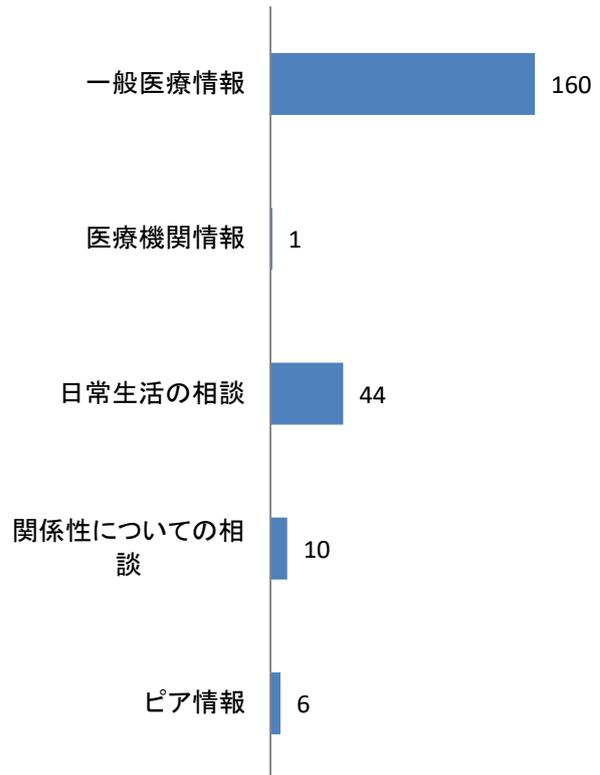
がんの部位



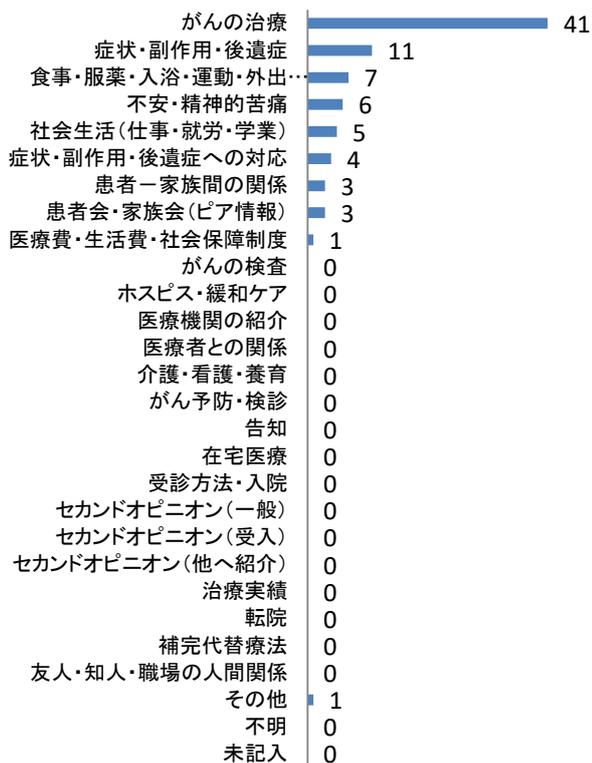
相談内容 (実施したものすべて)



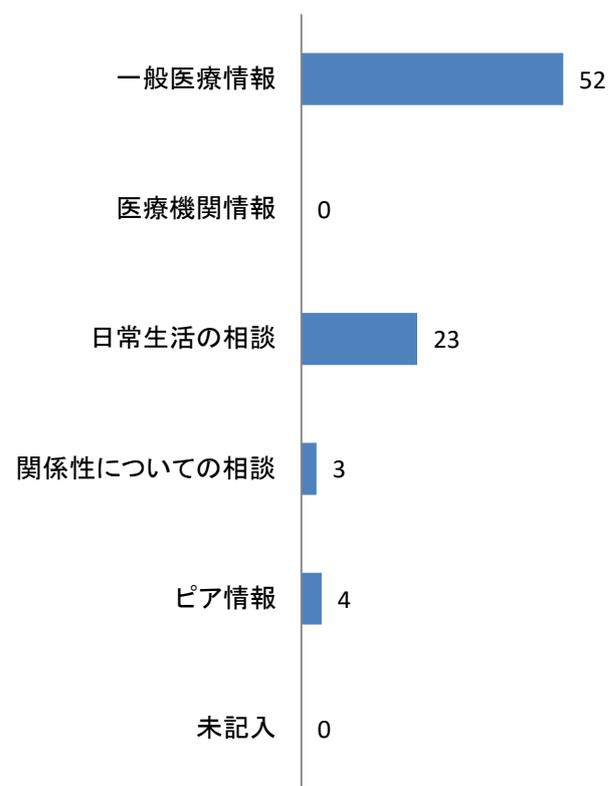
相談内容 (実施したものすべて・大項目別)



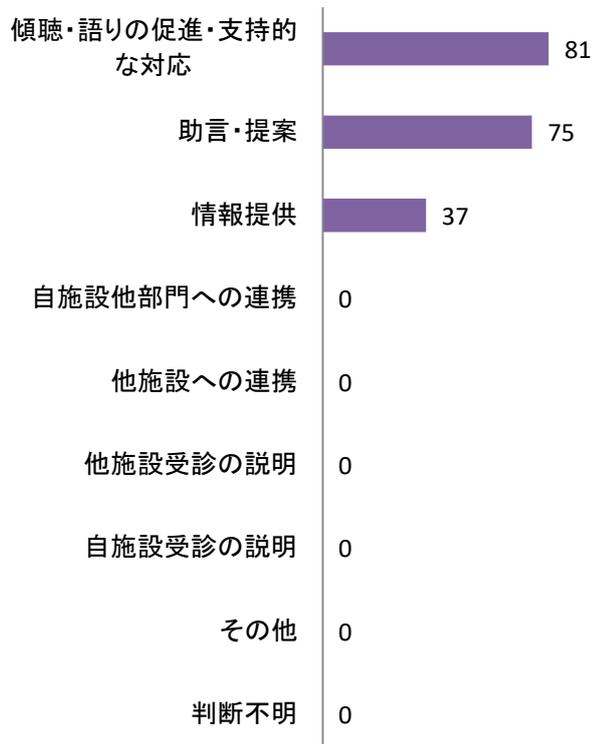
相談内容 (最も比重の高いもの)



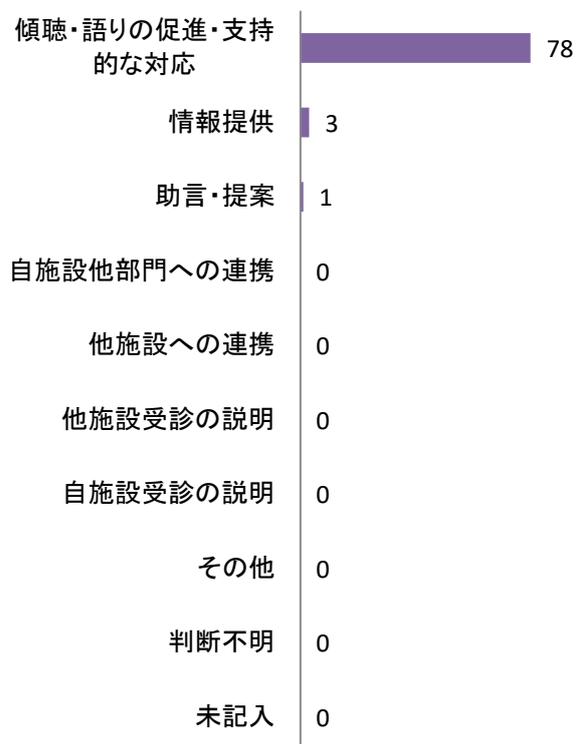
相談内容 (最も比重の高いもの・大項目別)



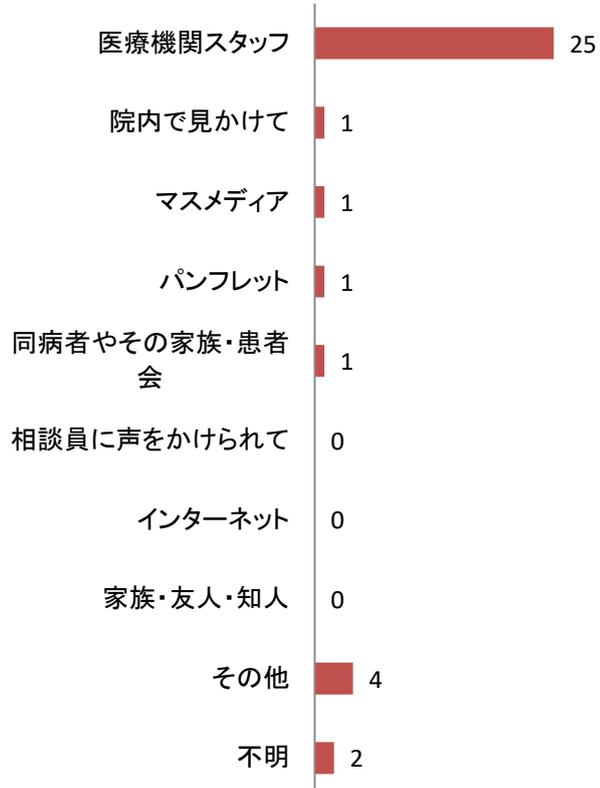
対応内容 (実施したもののすべて)



対応内容 (最も比重の高いもの)



認知経路



令和元年度

がんピアサポーターフォローアップ研修会

(研修会 / 交流会)

開催報告

実施日：令和元年6月8日（土）

【イベントの名称】

令和元年度 がんピアサポーターフォローアップ研修会

【目的】

<研修会>

ピアサポート活動をする上での様々な対応力をつける、また自信を持って活動ができるよう資質向上を図るため。

<交流会>

ピアサポーター間の親交を深め、活動意欲の維持を図る。
また昨年度の活動報告、良かった点を皆で共有し反省点はお互いにアドバイスし合うなど意見交換を行う。

【概要】

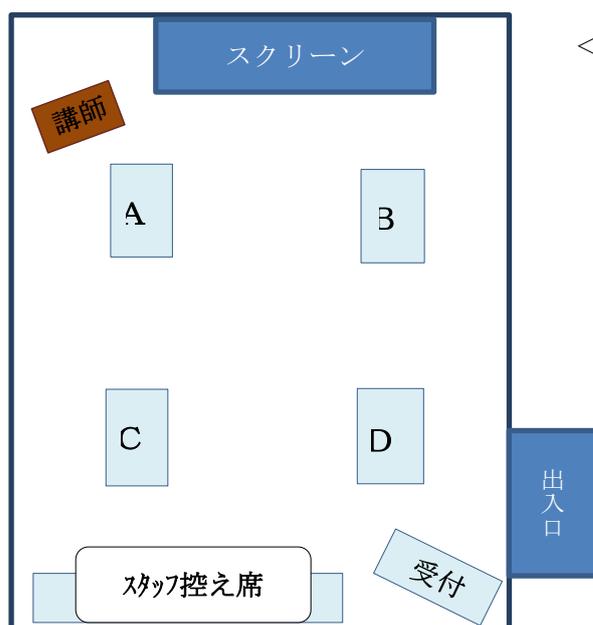
1. 日時 令和元年6月8日(土)
2. 場所 宮古島市働く女性の家 ゆいみなあ
〒906-0013 宮古島市平良字下里 442
3. 対象 <研修会>ピアサポート養成基礎講座修了者またはすでにピアサポート活動を行っている方、ピアサポートに携わる方
<交流会>当センターピアサポーター
4. スタッフ 講師1名
沖縄県地域統括相談支援センター
センター長、事務補佐員2名、相談員(アドバイザー)4名
5. 主催 沖縄県地域統括相談支援センター(令和元年度 沖縄県委託事業)
6. 参加費 無料
7. プログラム <研修会>11:00~15:00
ロールプレイによる実践的トレーニング
「より良いサポートのために」
講師/NPO法人支えあう会「α」副理事長 野田真由美 様
<交流会>15:00~15:30

【タイムスケジュール】

| 開始 | 終了 | 時間 | 内 容 | 講 師 |
|---------|---------|------|------------------------------------|--------------------------------|
| 9 : 00 | 10 : 00 | 60 分 | 会場準備 | |
| 10 : 00 | 10 : 30 | 30 分 | 打ち合わせ | |
| 10 : 30 | 10 : 58 | 28 分 | 受付／案内 | |
| 10 : 58 | 11 : 00 | 2 分 | 開催にあたっての諸注意事項等の説明 | |
| 11 : 00 | 11 : 05 | 5 分 | 開会 開会のあいさつ | 沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人 |
| 11 : 05 | 11 : 25 | 20 分 | ロールプレイ | NPO 法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様 |
| 11 : 25 | 11 : 45 | 20 分 | 第 1 セッション | |
| 11 : 45 | 12 : 05 | 20 分 | 第 2 セッション | |
| 12 : 05 | 13 : 00 | 55 分 | お昼休憩 | |
| 13 : 00 | 13 : 20 | 20 分 | 第 3 セッション | NPO 法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様 |
| 13 : 20 | 13 : 40 | 20 分 | 第 4 セッション | |
| 13 : 40 | 14 : 30 | 50 分 | 全体での振り返り 各シナリオの解説 各アドバイザーの講評 | |
| 14 : 30 | 14 : 35 | 5 分 | アンケートの記入 | |
| 14 : 35 | 14 : 45 | 10 分 | 休憩 | |
| 14 : 45 | 15 : 00 | 15 分 | 受講修了書の授与 閉会のあいさつ | 沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人 |

| | | | | |
|---------|---------|------|------------------------------|--|
| 15 : 00 | 15 : 03 | 5 分 | 写真撮影 | |
| 15 : 05 | 15 : 35 | 30 分 | 交流会スタート 事業報告 意見交換、質疑応答 | |
| 15 : 35 | 16 : 00 | 25 分 | 終了／後片付け | |
| 16 : 00 | 16 : 45 | 45 分 | スタッフでの振り返り | |
| 16 : 50 | | | 退館 | |

【会場】



<研修会／交流会>

アドバイザー各1名ずつ
4つのグループに分かれての研修。
お互いの声が聞こえないよう
グループ間を広くとった。

【参加者数】 13名

【振り返り】

- ・今回初の離島開催。平成29年度宮古島市で開催した「がんピアサポーター養成講座」以降、地元ピアサポーターとの協力、交流ができていなかったため不安があったが、7名中5名が参加してくれた。なかなかピアサポートする機会がないということで、スキルアップというより改めて学習、復習となったようだ。
- ・講師の方の配慮等あり終始和やかに進んだ。よくある相談内容を取り上げ4回に分けセッションしたが、自身の想いが強すぎてピアサポートの基本からズレることもしばしばあった。お互いでフォローすることによって軌道修正し、1回目よりは2回目と上達がみられた。
- ・今回県立宮古病院、八重山病院地域連携室の看護師が参加。医療者側とピアサポーター側の対応の違いに当初とまどってはいたが、役を体験することによってそれぞれの気持ち、立場を理解することができ、ピアサポートについてより知ることとなり勉強になったと声をいただき良かった。
- ・お天気や体調面も心配されたが何事もなく無事に終わり、また改めてピアサポーターとしての自覚、仲間意識、お互いの想いを共有、再確認できたことが良かったのではないかな。

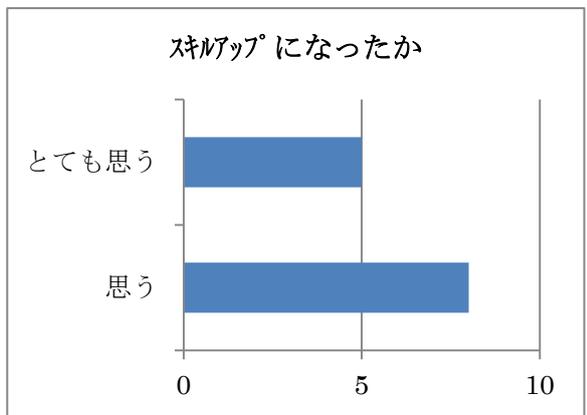
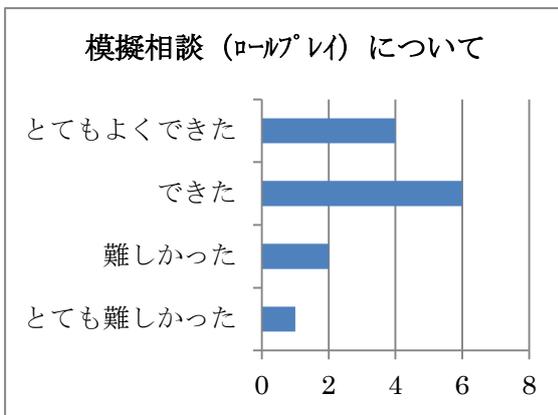
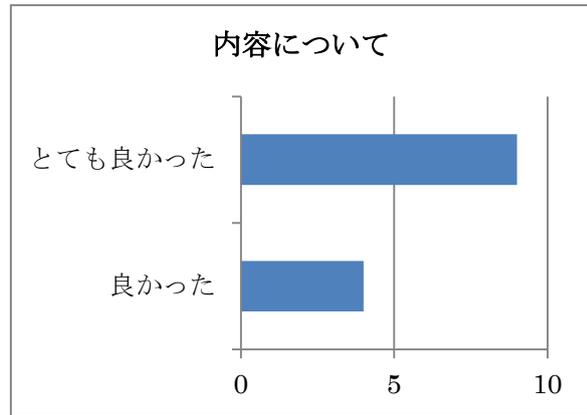
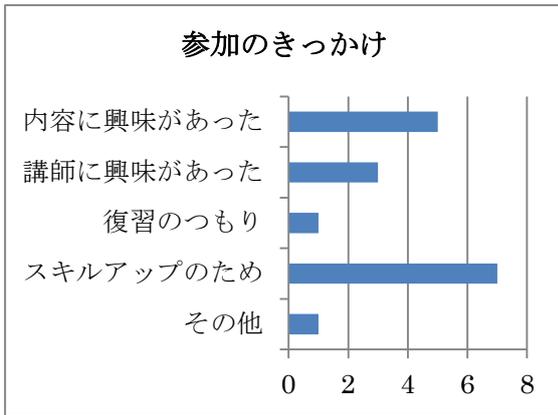
【反省点】

- ・振り返りの際に意見や確認事項等が多々あったので、講師とアドバイザー間での詳細部分の打ち合わせをもう少し時間をかけてやるべきだった。
- ・褒めることはできても、注意やセッションの途中でストップをかけるのは躊躇してしまい難しかった。しかし離島のピアサポーターは常に相談員が同行、フォローする訳ではないので、もう少し踏み込んでよかったのではないかな。
- ・交流会では帰りの飛行機の時間を気にするあまり時間を短縮、またテーブルやイスの配置をそのまま進行したがピアサポーター同士の交流がメインなので、昨年度の活動報告後やはり1つの円になるなど変えるべきだった。お互いの近況や対応の確認、フォロー等に時間をかけた方がよかったのではないかな。

【今後の課題】

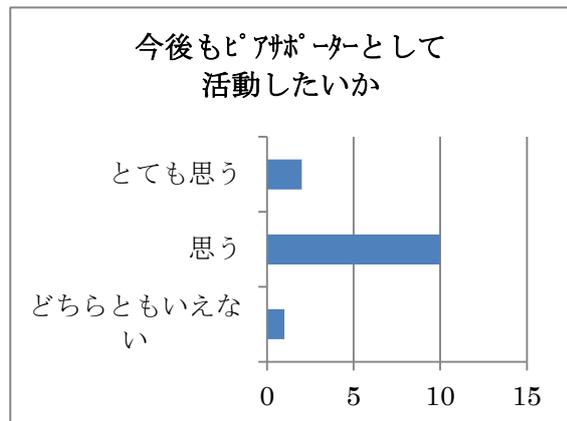
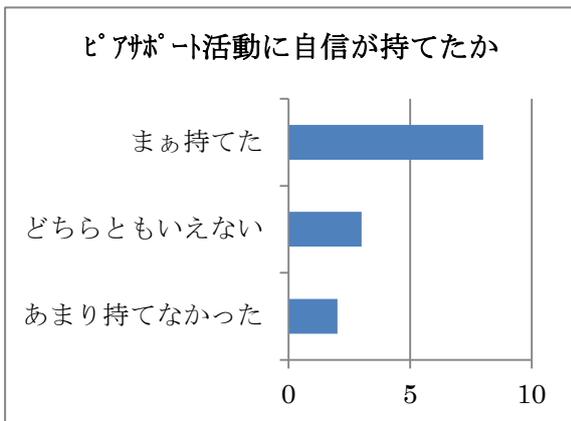
- ・次年度は「沈黙」といった何かテーマを掲げて研修してはどうか。
- ・離島在住のピアサポーターとの連携、協力体制等をどう整えていくべきか。

【研修会：アンケート集計結果】 回答者：13名



（「スキルアップになったか」を受けて）なぜそう思うか

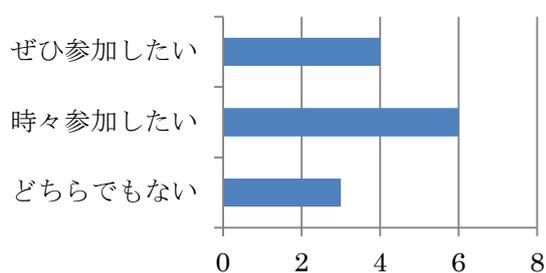
- ・それぞれの役を体験することで、より理解することができたから。
- ・同じ相談内容でも1つの答えがなく、それぞれの対応があり、自分自身の振り返りにもなったから。



（「自信が持てたか」「活動したいか」を受けて）なぜそう思うか

- ・ ロールプレイを通して共感、理解できたので活かしたいと思った。
- ・ ロールプレイを通して力になりたいとより強く思ったから。
- ・ 傾聴、共有することの大切さを知り、経験を積むことで自信に繋がると思うから。
- ・ その都度悩むとは思うが、他の方の対応を見て参考になり前より自信が持てた。

センターが主催する「がんぴアソン」に 参加したいか



ご意見・ご感想

- ・ ピアサポーターとしての意見、想いを直接聞くことができとても良かった。
- ・ 具体的に考え、答える、伝える、アドバイスすることに悩んだが、ピアサポーターの役割を改めて学ぶことができ良かった。
- ・ 言葉の選び方が難しいが、ちゃんと伝えられるようなピアサポーターになりたい。
- ・ その人の想いに寄り添い、仲間として支えていきたいと思った。
- ・ 研修会で学んだことで、より良いピアサポートを考え実践していこうと思う。
- ・ まだまだ勉強、経験不足だが、これからも学んでいきたい。
- ・ 離島ではなかなかこのような機会はないので、大切な学びの場としてまた開催してほしい。

【当日の様子】



▲研修会



▲Aグループ



▲Bグループ



▲Cグループ



▲Dグループ



▲交流会





▲研修会終了後の集合写真

【案内チラシ】

令和元年度 沖縄県委託事業

**がんピアサポーター
フォローアップ研修会**

参加
無料

日時：令和元年 6月8日(土)
会場：宮古島市 出く女性の会 ゆいみん会
〒996-0011 宮古島市出く1-1-1 ※会場詳細は案内巻頭

このたび、宮古・八重山地区にてピアサポーター養成基礎講座を受けた方を対象としたフォローアップ研修会を開催いたします。
貴賓格上を賜るとともに、今後を引き続き円滑にピアサポート活動を行っていただけるようピアサポートに関する基礎知識の再確認やコミュニケーション技術の復習、今までのご自身の対応を振り返る場を設け、次のステップアップへの足がかりを確かめていただきます。併せて「交流会」を開催いたしますので、ぜひ、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

● 第1部 研修会 11:00~15:30
懇話会やサロンで活動する中で見えてくる新たなこと、不安など、ご自身の対応を振り返りながらグループで話し合い、経験の共有を行います。

| 時間 | 内容 | 講師 |
|--------------------------|--|--|
| 11:00- (休憩含む) 150分 | ロールプレイによる 実践的トレーニング 【より良いサポートのために】 | 総合アドバイザー NPO法人ええあう会「αアルファ」 副理事長 野田 真由美 氏 アドバイザー 沖縄県地域福祉推進支援センター 相談員 岸田 ひろ子 中山 直美 西村 茂樹 榎本 亜希 |

● 第2部 交流会 15:30~16:00
平成30年度の活動をスライド等で振り返り、今年度に向けての意見交換を行います。

主 催：沖縄県地域福祉推進支援センター

▲表面

講師紹介

NPO法人ええあう会「αアルファ」副理事長



千原県がんピアサポーター事業に立ち上がりから関わり
ピアサポーターの養成から活動の醸成、
活動支援を行ってきました。

平成22・24年度 厚生労働省委託事業「がん総合情報に
携わる者への研修プログラム策定」作業部会委員・幹事委員。

平成20年度 厚生労働省委託事業「日本サイコロコロジ
ー学会ピア養成研修ワーキンググループ」委員として、ピア研修
プログラム設計作業に当たっている。

お 名 前 野 田 真 由 美 氏

会場MAP



宮古空港より車で15分
宮古島市民球場そば
サンエーカメラマビルズ店
真向かいになります。

お待ちしております！



お問い合わせ

沖縄県地域福祉推進支援センター TEL:098-942-2407(直通) FAX:098-942-2406

▲裏面